

## 生涯学習の具体的展開(1)-渡辺庭園ばら鑑賞会・コンサートより-

著者	田 茂, 千葉 圭説
雑誌名	北翔大学生涯学習システム学部研究紀要
巻	14
ページ	83-93
発行年	2014
URL	<a href="http://id.nii.ac.jp/1136/00000185/">http://id.nii.ac.jp/1136/00000185/</a>

## 生涯学習の具体的展開（１） —渡辺庭園ばら鑑賞会・コンサートより—

### Concrete deployment of lifelong learning (1) The rose appreciation meeting of the Watanabe garden and concert

高 田 茂 千 葉 圭 説  
Shigeru TAKADA Keisetsu CHIBA

#### I. はじめに

永年，大麻地区センターや東小学校等に集まって，音楽担当の北翔大学教授・講師等の指導伴奏のもと，100回開催を目標に地域コンサートが行われてきた。年齢，職業等異なる皆さんが集って，合唱や器楽演奏でひとときを過ごされている。毎回，参加された皆さんが音楽の集いを終えて，反省会を近くの喫茶店で意見交流を行ってきた。その交流の中で，何方かが「大麻地区で素晴らしいバラ庭園がある」と話された。次々にバラ庭園の話題に夢中になっている中，「もしや渡辺さんの庭園では」と一斉に話された。渡辺さんと言えば，この音楽の集い仲間でもあり，すぐさま音楽仲間が訪問させていただくこととなった。

季節は丁度，バラの花が満開となるころ，音楽談義に話が弾むなか，渡辺さんから「どうだろう，うちのこのバラ庭園でコンサートなんて」と持ちかけられた。「いいねえ，是非，この素晴らしいバラ庭園で，やってみたいねえ」と言うことになり，話が早く，早速，コンサート開催に向けた準備を「ばら庭園鑑賞・コンサート」という名称で，自治会はじめ関係者への働きかけが始まった。

#### II. バラ庭園の素晴らしさ

渡辺さんはじめ自治会，地域コンサート関係者等との話し合いにより，ばらの花が満開に咲き誇る七月七日七夕の日に，「ばら鑑賞コンサート」を開催することとなった。

そこで渡辺さんのバラ造りにかける情熱の一端を紹介する。渡辺さんは40数年に亘り江別市の自宅庭園にて，奥様とともにバラ造りに取り組んでこられた。バラの苗120本にも及ぶほどの数を「毎日が学習の繰り返しです」と言われるほど，一本一本丁寧に愛情を込めて育てて来られたのである。

季節の進行とともに芽が出て，新緑の葉がでると，ばらの葉につく虫取りを夫婦揃って行うのが，この頃の日課とのこと。アブラムシが葉につくので一時期，殺虫剤など希釈して使用し

ていたが、虫だけでなく人の健康も害することから一切使用しなくなった。それでも暖かくなると虫と人間の根競べで、毎日のように虫取りを行って来たとのことであった。

そうして日がたち、やがて庭園一杯に赤や黄色、白色と色とりどりのバラの花が姿を現してくる。この時こそ、今までの苦労が吹き飛ぶほど嬉しいとのこと。まさにご夫妻揃って丹精込めて育てて来られた感激の場面でありました。渡辺さんは「バラの栽培は、子育てと同じとよく言われます。やさしく愛情を持って接してやればやるほどバラは応えてくれる。そのためには日々、学習の繰り返し」と言っています。

「ばらづくりに生涯を捧げた」私の生涯学習ですとも話されています。見事に開花された「ばら」は道行く人々に安らぎをも与えてきたのです。口コミで聞きつけ、わざわざ遠方から駆けつけ見学に訪れる人もいます。地元、大麻東町の皆さんは、毎日、道行く中、身近で「ばら」を鑑賞しています。この見事に咲き誇る「ばら」の前で、音楽コンサートが開かれることに「ばら」もきっと喜んでいでしょうと渡辺さんは話されていました。

### Ⅲ. 三か年のばら鑑賞・コンサートの経過

#### 1. 第一回 渡辺ばら園でのコンサートより 平成23年7月7日（金）午後1時

講義講師：渡辺 明 氏      チューター：高田 茂（北翔大学）

参加者：内一政幸、菊地勝也、真銅僚子、佐藤良子、山崎昭子、村井俊博（事務局）

はじめての薔薇鑑賞・コンサートは晴天に恵まれ、暑い中ではありましたが、近隣の方々が鑑賞に来られました。庭園提供いただきました渡辺さんの薔薇作りについて、お話をお聞きした後、ばら鑑賞を行いました。見事に咲き誇る赤や白、黄色と色とりどりのバラの花を前に『ばらさんありがとう』と気持ちを込めて、皆さんで『バラが咲いた』を合唱しました。

また来年もお会いできることを楽しみに終了しました。



会場正面玄関ではバラのアーチが歓迎してくれた。一渡辺明さん宅玄関前一



園内で渡辺さんから「ばらが話かけてくれる」と聞き感動！

#### 2. 第二回 渡辺ばら園でのコンサートより 平成24年7月7日（土）午後1時

- ・期日 平成24年7月7日（土）13：30～
- ・会場 渡辺庭園（大麻東町5-22）、喫茶ブルマン

- ・主催 大麻薔薇鑑賞会，北翔大学高田研究室
- ・参加 薔薇愛好者 約50名

昨年に続いて今年も晴天に恵まれました。七夕の日中での開催ではありますが，近隣住民の皆さん，自治会へご案内を差し上げたところ，多くの方にご参加いただきました。今年は，プロの音楽家，ギターリストの応援を受けて，プログラム二部構成にて鑑賞・コンサートを行いました。



ーばら名 セイオブヨークー

#### 第一部 薔薇の鑑賞会 13：30～14：00

～花の彩と歴史～ 講師 渡辺薔薇庭園主 渡辺 明 氏

#### 第二部 薔薇のコンサート 14：00～14：30

序 詞 「薔薇を讃えて」…朗読 菊地勝也

～大らかに気品あふれ，格調高く詠まれた……。

①バラが咲いた（浜口庫之助作曲）…歌とギター 田村幸雄

～明るく軽やかに歌は流れ・みんなの心の中で一緒に歌う！

②野ばら（シューベルト作曲）…ソプラノ 中田晶子，ギター 田村幸雄

～世界の名曲を，心行くまで堪能した素敵なステージ。

③野ばら（ウエルナー作曲）…ソプラノ 中田晶子，ギター 田村幸雄

～流れるように，そして優雅に歌う美しさが素晴らしい。

④「ばら」…渡辺明作詞，村井俊博作曲（附歌唱指導）全員合唱

～作詞者 渡辺明様と奥様を讃えて，大合唱をした。

アンコール…「野ばら」（ウエルナー作曲）を全員合唱してコンサートは終了。

～本当に素敵な素晴らしいコンサートであった。

#### 全体講評 第2回 渡辺庭園薔薇観賞会 講師 北翔大学 高田 茂

今年は，事前の天候にも恵まれたためか，渡辺さんも申されていましたが，少々，薔薇の開花が早まったようですね。それでも，残された薔薇の花の下で，皆さんと観賞，コンサートを楽しむ事が出来たことに感謝したいと思います。

渡辺さん，有難うございます。

- (1) 皆さん，ご承知の通り東日本の災害から，一年余りが経過しました。復興に向けて現地で取り組まれている現状を見ますと，誰もが「人と人の絆」の大切さを感じずにはいられません。まさに，現代社会において，地域の人と人のかかわりの大切さを痛切に感じています。本日，行われました「薔薇観賞会並びにコンサート」等は，渡辺さんの呼びかけで実現された訳ではありますが，参加された地域の人たちと交流することができました。たくさんの方に観賞していただくことによって，この繋がりが更に広がっていくことを期待します。

（２）次に、「いつでも、どこでも、だれもが、自由に学ぶことができる」生涯学習が言われて久しいわけです。平成11年「学習の成果を幅広く生かす—生涯学習の成果を生かすための方策について—（答申）」（生涯学習審議会）では、新しい社会の創造に向け、個人のキャリア開発に生かす、ボランティア活動に生かす、地域社会の発展に生かす、という学習成果の活用方向が示されています。学習の成果が評価される生涯学習社会を構築していくことが、この「薔薇の鑑賞コンサート」を通じて、感じていただいたのではないかと考えています。これから先も渡辺さんがお元気で薔薇作りに励まれて、この鑑賞会が開催されればいいなあと思っています。皆さん、本日は有難うございました。



「ばらのコンサート」演奏と作品

真夏の晴天の光は、庭一面のバラの花の彩を鮮やかに浮かび上がらせていた。

花に囲まれた野外ステージでバラコンサートは開演した。

シューベルト作曲「野ばら」が歌われた。

庭園の周りに地域の人々が集まって来た。ちょうど庭を囲むように…。

バラの花が香る庭一杯に、明るい歌声と、美しいメロディーが流れた…。

人々は酔ったように、その音楽を聴き入っている午後のひとときを…。

その音楽を、庭の「バラ」たちも、一緒に聴いてくれているよう…。

紅いバラ 白いバラ 黄色のばら ピンク色のバラ 等々…。

みんな みんな美しく 輝いている。庭一面に咲き誇っている…。

渡辺さんが、手塩にかけ育てた「バラ」を「作詞」という形にもした。

童謡「バラ」渡辺明作詞・の歌を皆で歌う。可愛く綺麗に歌う…。

とっても とっても素敵な「バラのコンサート」となった。

ば ら 渡辺 明作詞

長い冬 長い冬

寒さに 耐えた ばらの木が

栗粒みたいな

小さい芽を つけた

陽をあびて 陽をあびて

伸び伸び ふっくら 蕾になって

赤 白 黄色の

大輪つけた



—ばら名サハラ—素晴らしいバラの花が咲く。

写真提供 関 英治 氏

### 3. 第三回 渡辺ばら園でのコンサートより 平成25年7月7日（日）

- ・期日：平成25年7月7日（日）10：30～12：00
- ・会場：渡辺庭園
- ・主催：大麻ばら鑑賞会
- ・参加：ばら愛好者 参加無料

平成25年7月7日の行ったコンサートは晴天に恵まれ野外での演奏には少々、暑さを感じる日に大勢の地域住民の応援のもと演奏が始まった。

今回のコンサートは北翔大学芸術メディア学科音楽コースの授業発表の一環として実施され演奏曲目の選曲や進行などすべて学生のアイディアの元、企画され、木管楽器と金管楽器それぞれによる小編成の演奏がばら園で披露された。

地域との連携も兼ねた演奏会ということで前期アンサンブル授業内で大きく2つの目標を掲げて企画した。内容については下記のとおりである。

- 1) 木管、金管楽器のそれぞれの名前や音色を楽しんでもらう。
- 2) 楽器のしくみや発音原理を理解してもらう。

上記の目標を中心に演奏曲目や進行を考え次ページのプログラムのとおり選曲された。木管アンサンブルではフルート、オーボエ、クラリネット、バスーン、ホルンの編成で行われ、木管アンサンブルの音色をより聞きやすくしている。楽器の名前についてはフルートやクラリネットについては音楽に興味がない方でも知っていることと思うがバスーンという低音木管楽器の音色また（2）での楽器のしくみ、発音原理については興味深い説明などもあり単なる演奏のみではなく普段、目にする事のないものについては説明に工夫をした。

金管楽器アンサンブルでは曲目の選曲で多くのお客さんが親しみやすいものとして考え、「上を向いて歩こう」とテレビ番組のテーマ曲としておなじみの「情熱大陸」を選曲した。ばらを鑑賞しながら音楽を楽しんでもらうというコンセプトから2曲とも特に多くの人の耳に馴染みがあるものをプログラムに取り入れた。金管アンサンブルの編成では一般的な金管五重奏によるものでトランペット2本、ホルン1本、トロンボーン1本、チューバ1本によるもので明るく、輝かしい音色を中心とした金管楽器であり、また大小の楽器を視覚的にも比較しやすいものであり個々の音の響きを楽しめるよう努力した。下記に当日プログラムをご覧いただきたい。

#### 第1部 ばらの鑑賞会 10：30～11：00

～花の彩と歴史～ 講師 渡辺ばら庭園主 渡辺 明 氏

#### 第2部 ばらのコンサート 11：00～11：30

はじめに

演奏 北翔大学 芸術メディア学科音楽コース学生



指導 芸術メディア学科准教授 千葉圭説

① 木管アンサンブル演奏

\* 海に見える街～映画『魔女の宅急便』より

\* 「ワルツィング・キャット」アンダーソン作曲

② 金管アンサンブル演奏

\* 上を向いて歩こう 中村八大

\* 情熱大陸 葉加瀬太郎

おわりに（お礼） 渡辺ばら庭園主 渡辺 明 氏

海に見える街～映画『魔女の宅急便』より

作曲：久石 譲 編曲：高橋宏樹

♩ = 112 海に見える街

上を向いて歩こう

作曲：中村八大 編曲：中川喜弘

♩ = 164

☆参考楽譜（ズーラシアンプラスシリーズより）

#### Ⅳ. 写真で見る『ばらコンサート』より

##### 1. 第一回 渡辺ばら園でのコンサートより 平成23年7月7日（金）午後1時



見事なばらの花の前で説明する一渡辺 明さんー



ーばら名 うたげー



～第一回 バラコンサートでのバラの花並びを鑑賞されているみなさん～

##### 2. 第二回 渡辺ばら園でのコンサートより 平成24年7月7日（土）午後1時



歌手 中田晶子さん、ギター 田村幸雄さん  
アコーディオン 村井俊博先生



～野外での演奏を聞く地域の皆さん～





## NO. 2

ている。素人の手入れにもかわからず、植えては土地がバラにどうして個性が良かったのか、予期しないような花を咲かなく咲かせてくれた。私はこれまで経験したことのないような、ふんい気と包まれながら、やがてバラの植着えと変っていった。

しかし、この5株のバラにとっては、予期しない困難が待ち構えていた。私の職任とそれに伴う引越しである。個性の良かったあの土地と別れ、ほとんども毎年のように知らない土地へと植え替えをさせられ、生気を失っていった。そうして、勤めを終えた家へ永住することになった時には、かつての勢いは全くなくなり、幹まで枯れかけてきた。私はしきりに見てやれなかったことを後悔しながら、せむしくあの世送りとした。

関心を持ち続けていた大塚の住環境はどうであろうか？ 狭いながらも家を覆りまくるようにして、東から南へうして西へと土地が続き、しかも道路に面している。まさにバラ栽培

## NO. 3

場の適地と言える。私の喜びはとて大きく、特筆すべきバラの庭作りへと専念していった。バラ園の具象、バラ作り講習会への参加、バラの好む元肥作りなどから始め、苗木の購入と植え付けへと進み、予定の空地を満杯までに何年もかからなかった。

バラの数が増えるのに伴い、噴霧器による薬剤（人へ無害の木酢液、月10回など）の散布や肥料やり、あぶら虫とりなどの作業が増え、今では家内にも手伝ってもらい二人でやっている。通りがかりの方が道をかけ下さへなり、「バラを思い来たら人が」と言う方も増えたりして、私も二人にとっては大きな励みになっている。

このようにして、私ももの庭のバラが知られるようになった頃、私は音楽家の村井隆博先生と、或る会で一緒にしたことがある。話しがバラのことに移り、先生は私どもの庭の案内をしたところ、すっかり気に入って「この庭で、バラの観賞会とバラのコンサートと

## NO. 4

聞きませんか」という提案があった。私にとっては光栄の至りであり先の端で承諾した。

その後、先生とは何度かお会いし、第1回目の開催を7月7日（平成23年）と決め、さらに先生は「静かな住宅街で吹奏楽をやることになるので、事前自治会長さんにお願いをしておいたらどうでしょうか」との提案があり、東町第1自治会の佐古会長さんにお願いをしたところ、早速180戸の皆さんへ回覧文を回して下さった。

当日は天気も良く、初めての試みというにとっても大成功の、多くの客が来られ、吹奏楽の演奏は順次、中田 晶子先生のソプラノ独唱の大きな拍手が沸いた。妙なるメロディを層引き立てくとするかのよう、バラの花々も満開となり、さらに、その音りを会場内に漂わせ、やがて、その風と共に同調へと流れていった。

第2回目も準備を進めていたが、雨のため残念ながら開催できなかつた。

## NO. 5

第3回目の今年は、事前の準備として劇団通り、東町第1自治会長の佐古さんへ回覧をお願ひし、さらに、友誼団体の「楽友会」会長の渡部 幸三さんにもお願ひしたところ、文書を作り会員の皆さんへ回覧して下さった。

開催日の7月7日は、天気も良く多くの客が来られた。しかし、とても残念であったのは、村井先生が満腹で来られなかつたことである。村井先生に代って、北翔大の島田先生と千葉先生が準備をなされ、予定通りコンサートを進めていただき、誠に感謝に堪えないところである。

木管アンサンブルと金管アンサンブルの4人/組による演奏が来られたが、それぞれの演奏が終わる度に、すさまじいばかりの拍手と声援が揚がった。

9月末の或る日、私は秋風の漂う庭の一隅にあって、バラをじっと見つめながら叫んだ。「来春もまた元気で会おう」と。

## VI. まとめ

人間は音・音楽と関わり生活を営んできています。そして音・音楽との対話により美的情動が揺さぶられ、その経験の積み重ねにより美的情操を形成しています。人間の音楽的成長とは、このような美的情操の形成を中核あるいはその一側面として解釈されるのではないかと思います。生涯学習社会との認識が浸透した現代日本において、音楽活動する人々にとって音楽を単に「人生を豊かにするもの」や、「生活の楽しみ」などの表現でとらえることは、極めて表層的であると思われるかも知れないが、生涯学習社会では、人間が音・音楽と対話を繰り返し自己形成しているという考え方を中核とし、人々の音楽活動が展開されているのです。ますます高齢社会が進行する中で、私たちの日本社会において、余暇として音楽に積極的に関わる人は多いはずです。これまで音楽分野で中高年者の場合は、認知症対策や健康維持を目的とし、音楽療法と関連づけて論じられることがほとんどでありました。生涯学習として、または余暇として音楽と対話し、自己形成をしている中高年者は、これからも増える傾向にあると思われます。

そうしたことから、このばら鑑賞コンサートは近隣の皆さんとともに音楽を楽しむ私たちの生涯学習のまち・人づくり活動の集まりであります。この活動はこれからも渡辺さんのばらづくりが行われる限り、ばら鑑賞が続けられることを願っております。

ごく限られた地域での活動ではありますが、地道に続けられればと思います。

## VII. おわりに

この「ばら鑑賞コンサート」を三年間にわたり実施することができたことは、先ずもってばら園をご提供いただきました渡辺明さんに感謝申し上げたいと思います。ありがとうございます。

そして、このばら鑑賞コンサートを側面から支えていただきました大麻東町第一自治会（会長 佐古さん）、楽友会（会長 渡部さん）はじめ近隣住民の方々に御理解並びに御協力いただきましたことにお礼を申し上げます。

回を追うごとにばら鑑賞に合わせてコンサートをお聞きいただく聴衆の方も多くなりました。真夏の七夕にあわせバラの花が最もきれいな時に、子どもからお年寄りまで音楽に浸り楽しいひと時を過ごしていただきました。

暑い中、美しい歌声をお聞かせ協力いただきました歌手の中田晶子さん、ギター奏者の田村幸雄さん、金管楽器の演奏をいただきました北翔大学吹奏楽部の皆さんにお礼を申し上げます。ありがとうございました。

## 参考文献

1. 千葉圭説・村井俊博『大学と地域の連携による生涯学習の展開事例（音楽）～地域コンサートの実践～』北翔大学生涯学習システム学部研究紀要第12号 2012年
2. 丸林実千代『アマチュアのシニア・アンサンブル団員における音楽的ライフストーリー』日本生涯教育学会第34回大会発表要旨2013年